

## 試聴会・訪問記掲載

### 2018 大阪サウンドコレクション報告(2018.7.22)

7月21日から22日まで心齋橋ハートンホテルで開催された、2018 大阪サウンドコレクションに行ってきました。



#### 研究室日誌 2018.7.23 大阪サウンドコレクションイベント

10社の展示と特別講演が行われていましたが、時間の関係で特別講演は聴くことができませんでした。以下、各ブースのデモの状況を記します。

#### <各ブースのデモ内容>



ノアとアークジョイアのブースでは、ブルメスターで駆動された Aida II がスケールの大きい音を出していました。



アッカのブースでは、YG アコースティックの Sonja がハイエンドらしい音で鳴っていました。



ESOTERIC のブースでは、Autograph MINI の後継機の Autograph MINI/GR が同社のハイエンドアンプで駆動され、サイズで予想される以上のスケール感で鳴っていました。同社の担当者の話によれば、ネットワークが見直され、音が柔らかくなっているとのことでした。Autograph MINI を使っているので、一度聴き比べをしたいものです。





アキュフェーズのブースでは、同社の最新システムで Sonas faber のスピーカーを鳴らしていました。



TAD のブースでは、同社の最新システムのデモがされていました。



太陽インターナショナルのブースでは、Avalon のスピーカーが NAGRA のアンプで駆動されていました。



ステラとゼファンのブースでは、BOENICKEの小型スピーカーW5 SE+がTechdasのプレイヤーを使用しアナログの再生を聴かせていました。この小型スピーカーはトランスミッションラインの構造で構成されており、サイズから予想される以上のスケール感で鳴っていました。

ロビーではステレオサウンド誌の即売コーナーがあり、いろいろ同社のサービスにつ

いて意見をいわせてもらいました。DiGi FiがNo.29で止まっているので、理由を聞いたら、廃刊ではなく休刊中とのことでリニューアルの検討中ということでした。こういうことはきちんとアナウンスしてくれないと困ります。

<まとめ>

暑さのせいかな、参加者は例年に比べて少ないようで、目新しい試みで興味を惹かれるものはありませんでしたが、Autograph MINI/GRとBOENICKEの小型スピーカーなどは、ストリーミング再生システムと組み合わせて、イージーリスニングの一つのかたちになるのではないかと思います。

以上